

れるも戦況は意の如くならず

4. 戦闘経過の概要

(1) 昭和20年3月23日 敵沖縄本島侵攻により4月23日師団首里戦線に転進にいたる迄与座師団司令部を基点とし軍及び師団内各部隊間の通信連絡に任じ敵の熾烈なる銃爆撃に依りしばしば切断せられたるも将校以下の努力に依り能く之を確保するを得たり

(2) 師団戦闘司令部4月20日津嘉山進出と共に同所をく次いで首里進出と共に同所を基点として通信連絡に任ず敵銃爆撃各種砲撃は益々熾烈を極め軍総攻撃前後に於いては断線に次ぐ断線により各部隊との連絡困難を極む

(3) 5月28日 島尻地区転進と共に6月2日新垣次いで同6口宇江城に転移す

(4) 6月23日 師団司令部及び各部隊間の通信連絡は敵の攻撃に依り遂に途絶するに至り各部隊は各個の戦闘を実施するに至る

沖縄作戦に於ける第24師団制毒隊史実資料

昭和22年3月25日

第32軍残務整理部

部隊の履歴（沖縄進駐までの履歴）の概要

1. 昭和17年1月10日北部第6部隊に入隊、同4月北部第6部隊出発
東安省満州第795部隊第1中隊に転属、同18年満州第795部隊より満州第24師団病馬収養所満州第93部隊に転属す
昭和19年7月6日 動員下令同13日完結同16日満州第93部隊東安省出発

釜山港-博多下関同19年8月5日沖縄金武湾石川村に上陸す同19年7月5日山第3477部隊転属

2. 部隊の作戦開始時の編成

山第3477部隊	部隊長	五十嵐大尉
	中隊長	川崎中尉
		川崎中尉
	小隊長	高橋中尉
		中井少尉

3. 指揮隷属・配属関係

山第3490部隊（基満州第93部隊）より昭和20年2月5日山第3477部隊（制毒隊）に転属す、同20年6月7日山第3477部隊より山第3478部隊（搜索隊）に転属す

4. 戦闘経過の概要

昭和20年4月20日頃運玉森歩兵山第3476部隊（89i）第2大隊に配属、発煙の任務を以つて運玉森高地付近に於て斬り込み戦闘す

20年5月4日山部隊総攻撃の際同じく発煙の任務を以つて小波津の線に於て戦闘（此の戦闘に於て発煙班2ヶ小隊の内約半数の死傷を出す）

同5月20日以降30日迄山第3477（制毒隊）、山第3490（病馬廠）兵器修理所の要員を合わせ指揮し特編歩兵1箇大隊を編成、大隊長五十嵐大尉指揮の下に前田の線に於て守備並びに夜間は山第3478部隊（搜索隊）の斬り

込み隊員を応援して以つて夜間斬り込み戦闘に参加尚5月末首里撤退の命を受け
転進時は部隊の半数は死傷す

6月12日 3478部隊命令にて東風平村小城、志多伯方面の敵戦車火砲を
撃滅すべき任務を以つて夜間斬り込み戦闘に参加す

沖縄作戦に於ける第24師団第2野戦病院史実資料

昭和22年3月25日

第32軍残務整理部

第1 部隊編成表

部隊長 (第1半部長)

将校	業務	下士官	兵
金子大尉 軍医	教育、外科		
中島中尉 軍医	発着、兵器		
島尾中尉 軍医	内科、病理		
平林中尉 軍医	外科		
工藤中尉 衛生	庶務	24	64
溝口中尉 軍医	内科		
松崎中尉 主計	経理		
徳久中尉 薬剤			
斉藤 (順) 見習士官			
軍医	内科		
中村見習士官			
軍医	外科		
米沢見習士官			
軍医	外科		

隊長 峰谷大尉 (第2半部)

将校	業務	下士官	兵
田村中尉 軍医	外科		
遠藤中尉 軍医	庶務、外科		
太田少尉 薬剤	薬剤		
広瀬見習士官 軍医	外科		
野村見習士官 軍医	内科	16	56
斉藤 (秀) 見習士官			